

AGX-04 ガーベラ・テトラ
 AGX-04 ガーベラ・テトラは、OVAシリーズ「機動戦士ガンダム0083 ～STARDUST MEMORY～」および劇場版「機動戦士ガンダム0083 ～ジオンの残光～」などに登場する強襲用試作MSである。U.C.0083年11月12日、コロニーが阻止限界点へと迫るなか、デラーズ・フリートの旗艦グワデンのブリッジはシーマの一味に占拠されていた。「私は故あれば寝返るのさ!!」シーマと内通する連邦軍上層部が戦闘中止を命じ、戦況は一旦収束するかに見えた。「動くなよガトー。敗軍の将は深くな」グワデンの元にノイエ・ジールで馳せ参じたガトーにシーマは嘲笑を浴びせる。静かに地球とコロニーを見やったデラーズは、星の肩完遂をガトーに託す。「往け、ガトーよ、意地を通せ!! 僕の屍を踏み越えて!!」ガトーもまた心を決める。「閣下!!」「ジーク、ジオン…」狼狽したシーマはデラーズを撃ち、ガトーのノイエ・ジールがクローアームでグワデンのブリッジを貫く。間一髪、ブリッジから逃れたシーマはガーベラ・テトラで脱出し、腹いせにグワデンを洗めると混戦の中リリー・マルレーンに向かう。「ガイドビーコンなんか出すな!! やらねたいのか!」その警告どおり、リリー・マルレーンはコウの駆るデンドロビウムに撃沈される。「お前は一体、どっちの味方だ!!」帰る場所を失ったシーマは、軍令に反抗して攻撃を続けるコウにビームを浴びせながら陥滅する。「なにに!」その瞬間、デンドロビウムは反転してメガ・ビーム砲をシーマに向けて。「かはっ!!」砲口に激突した機体の腕はちぎれ飛び、コクピットのシーマのバイザーは四散する。コウはそのままビームを放ち、ガーベラ・テトラはシーマごと星の肩となった……。

※画像はイメージです。

COLOR GUIDE
 ※よりリアルに仕上げたい方は、右の基本色をご覧ください。
 ※塗装には、より安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
 ※カラー配合は参考値であり、画像とカラーガイドの色は異なる場合があります。

- 本体等ピンク部:
 - サーモンピンク(50%)
 - +ホワイト(40%)
 - +イエロー(10%)
- 関節等ブルーグレー部:
 - ブルーグレー(80%)
 - +デイトナグリーン(10%)
 - +ブラック(10%)
- モノアイ等グリーン部:
 - イエローグリーン(60%)
 - +ホワイト(40%)
- ビーム・マシンガン等グレー部:
 - グレー(70%)
 - +ブラック(30%)
- ビーム・マシンガン センサー部:
 - シャインレッド(100%)

AGX-04 GERBERA-TETRA

DELAZ FLEET ASSAULT USE PROTOTYPE MOBILE SUIT

© 創通・サンライズ

MODEL NUMBER : AGX-04
 HEAD HEIGHT : 18.0m
 WEIGHT : 46.7t
 TOTAL WEIGHT : 73.2t
 GENERATOR OUTPUT : 1,710kw
 THRUSTERS TOTAL PROPULSION : 216,000kg
 MATERIAL : LUNA-TITANIUM ALLOY
 ARMAMENTS :
 110mm MACHINE CANNON
 BEAM SABER
 BEAM MACHINEGUN

MOBILE SUIT
GUNDAM
0083
 (STARDUST MEMORY)



1/144 SCALE

HG
 UNIVERSALCENTURY

GUNDAM.INFO Search
 www.gundam.info

バンダイホビーサイト | www.bandai-hobby.net/
Fees accrued by your communication and connection to the internet are under customer's responsibility.
 ホームページにアクセスする等の通信料等はお客様の自己負担となります。



警告 (けいこく)

保護者の方へ 必ずお読みください。

- 小部品があります。誤飲・窒息の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。

注意 (ちゅうい)

- 縁部が鋭い箇所がありますので、注意してください。
- 先端が尖っている箇所がありますので、注意してください。
- 部品はきれいに切り取り、切り取ったあとのクズは捨ててください。
- 袋を頭からかぶりたり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。

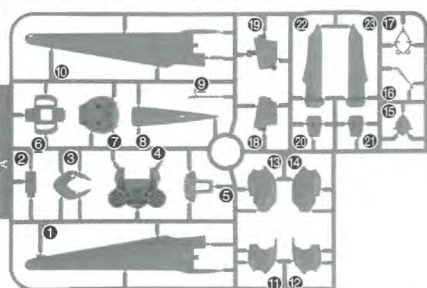
《組み立てる時の注意》

- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。
- 塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。

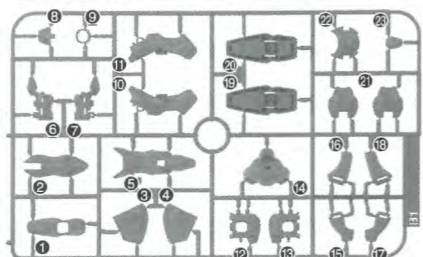
 産物をずらすところ	 シールの番号	 デカールの番号	 反対側に取り付けるパーツ	 両側と同じパーツを取り付ける	 向きに注意して取り付ける	 ヒスの締めすぎに注意
 切り取る場所	 部品を数値の個数作ります	 先に組み立てます	 後に組み立てます	 数値に合わせて回転させます	 どちらかを選んで取り付ける	 反対側も同じように動かします

パーツリスト (×印は使用しないパーツです。)

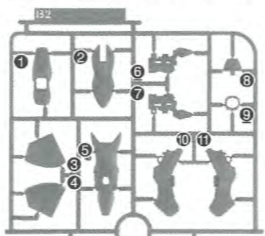
Aパーツ (スチロール樹脂: PS)



B1パーツ (スチロール樹脂: PS)



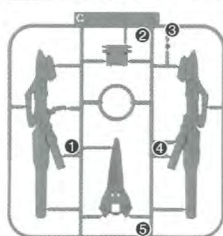
B2パーツ (スチロール樹脂: PS)



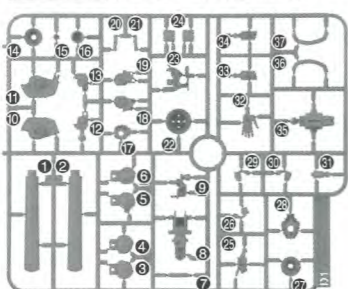
SB6パーツ
(スチロール樹脂: PS)



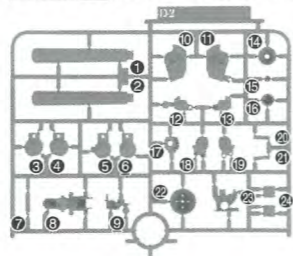
Cパーツ (スチロール樹脂: PS)



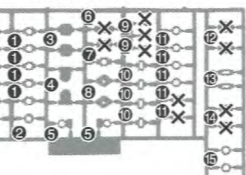
D1パーツ (スチロール樹脂: PS)



D2パーツ (スチロール樹脂: PS)



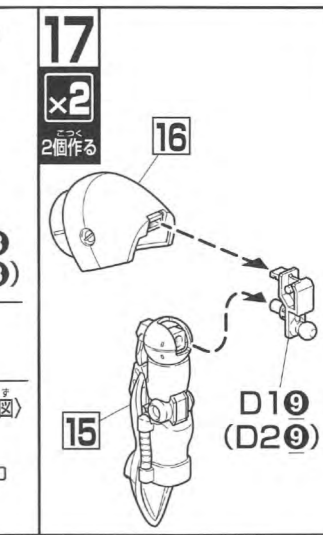
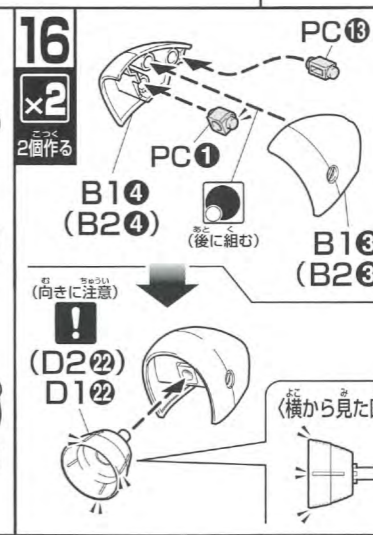
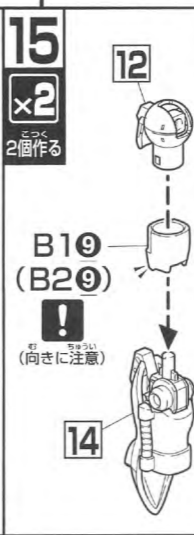
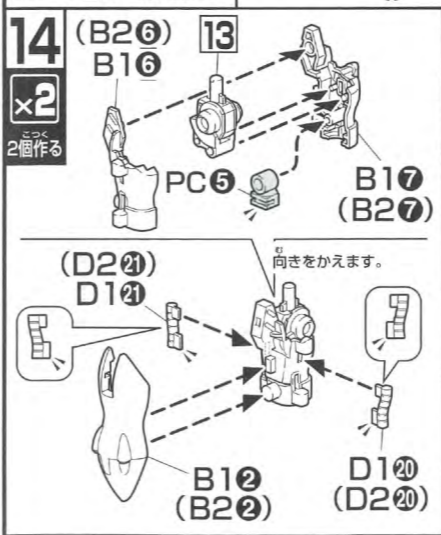
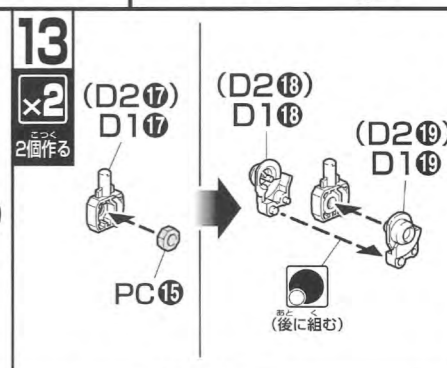
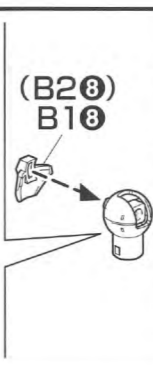
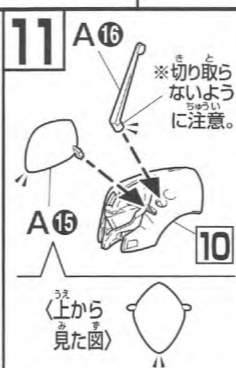
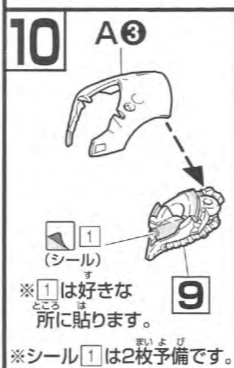
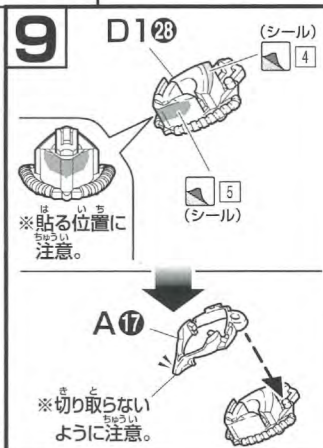
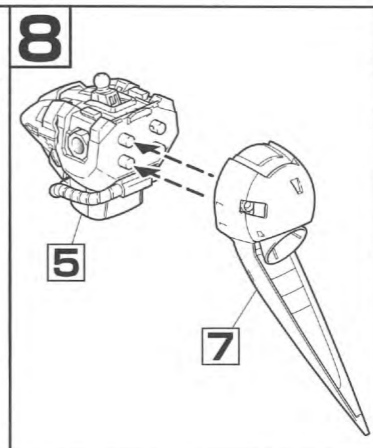
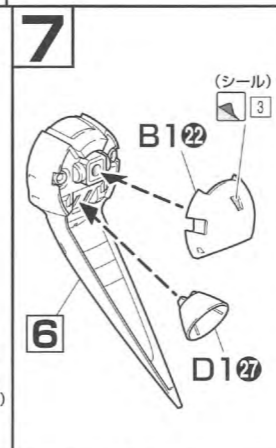
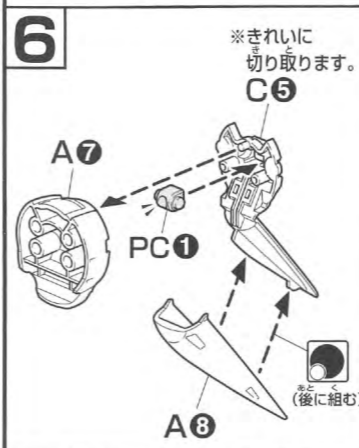
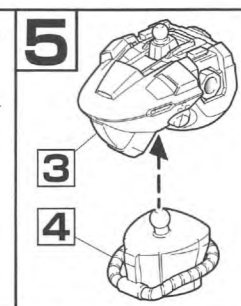
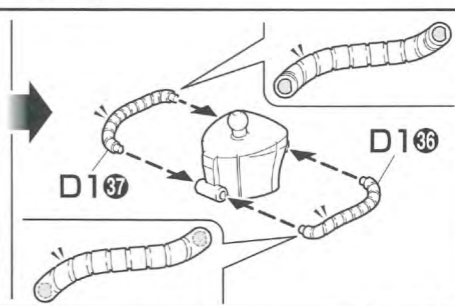
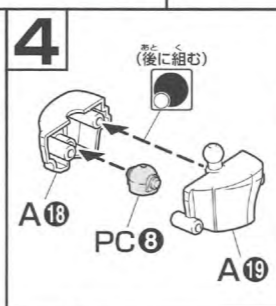
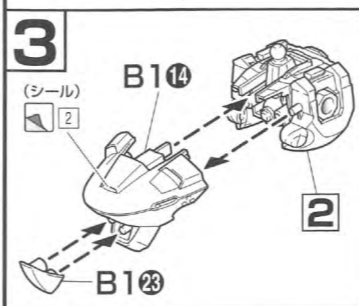
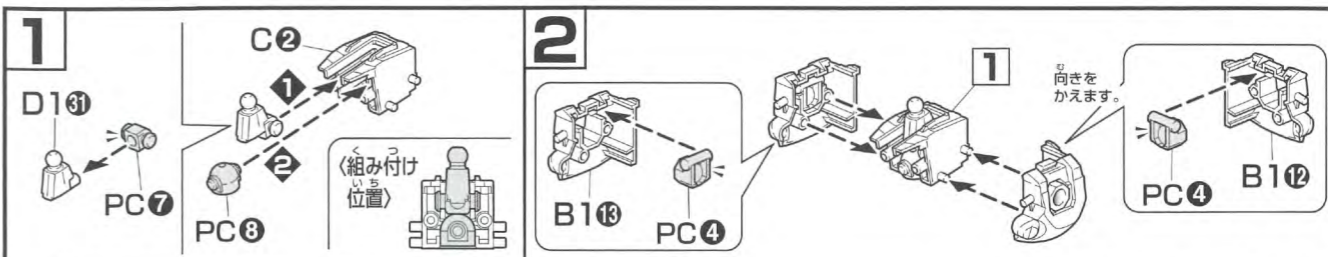
《PC-001A》
(ポリエチレン: PE)



●ホイルシール.....1

※シール①は2枚予備です。

※クリアパーツの中には、製造工程上気泡が入っているものがありますがご了承ください。



18 A① B1⑦

19 B1⑧ A②

20 18 17 19 D1④ D1⑤ D1⑥

21 B1⑥ A②③

22 B1⑥ A②

23 22 17 21 D1④ D1⑤ D1⑥ D1⑦ D1⑧ D1⑨ D1⑩ D1⑪ D1⑫ D1⑬ D1⑭ D1⑮ D1⑯ D1⑰ D1⑱ D1⑲ D1⑳ D1㉑ D1㉒ D1㉓ D1㉔ D1㉕ D1㉖ D1㉗ D1㉘ D1㉙ D1㉚ D1㉛ D1㉜ D1㉝ D1㉞ D1㉟ D1㊱ D1㊲ D1㊳ D1㊴ D1㊵ D1㊶ D1㊷ D1㊸ D1㊹ D1㊺ D1㊻ D1㊼ D1㊽ D1㊾ D1㊿

35 B2① B1⑩ PC③

36 A⑩ A⑪ 32 35

37 28 36 35

38 (後に組む) D1⑮ PC① A②

39 A⑥ A⑤ 38

40 39 37 34

24 11 8 23 20

25 B1① B1⑨ PC③

26 ×2 D1⑬ (D2⑬) PC⑩

27 ×2 26 PC⑩

28 (後に組む) ×2 PC① D1④ (D2④) PC① D1③ (D2③)

29 ×2 (D2⑩) D1⑪ (D2⑩) PC①

30 ×2 (D2⑧) D1⑧ 29

41 24 40

42 43

43 ×2 (2個作る) ※穴の小さい方。 (D2⑮) D1⑮ ※切り取らないように注意。 D1⑰ (D2⑰) SB6①

※バンダイプラモデルアクションベース2 (別売り) 差し込み用 (丸型) BA4-A⑨に対応しています。

31 ×2 (組み付け位置) 27 (B2⑩) B1⑩ 30 34

32 ×2 B1⑮ (B2⑮)

33 A⑭ A⑯ 32

34 28 33 25 (裏から見た図)

44 (シール) ⑧ C①-C④ C③ D2④ D1⑮ D1⑯

※手首は外しておきます。

45 ×2 (D2⑮) D1⑮ D1⑰ D1⑱ (D2⑰ D2⑱)

46 A④ D2⑭ PC② D1⑭ PC②

47 46 45

AGX-04 GERBERA-TETRA

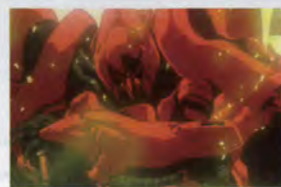
「AGX-04 ガーベラ・テトラ」は、U.C.0083年に勃発した「デラース紛争」において、ジオン残党のデラース・フリートに参画した「シーマ艦隊」を率いるシーマ・ガラハクが搭乗した強襲用試作MSである。本機は「地球連邦軍再建計画」の一環として実施された、AE(アナハイム・エレクトロニクス)社と地球連邦軍による「ガンダム開発計画」に基づく機体案のひとつで、対MS戦闘に特化された強襲用MS「RX-78GP04G」を原型としている。格闘戦および白兵戦を主眼とし、前線で速やかに格闘戦に移行可能なシュトルム・ブースターの装備も当初より想定されていた。しかし、初期の仕様では「RX-78GP01 ゼフィランサス」と重複する要素が多く、「GP04G」は計画から除外された。そこでAE社は、ある種の社内ベンチャーとして独自に本機の開発を継続し、重役レベルの裁量で償却を判断できるプロジェクトとした。元々「強襲用MS」の概念は、一年戦争末期にジオンが確立したもので、単騎による敵中突破能力を極限まで追求した機種であり、「MS-18E ケンプファー」がその系譜の祖にあるとされている。戦後処理の過程で、ジオン最大のMS開発企業ジオニック社を吸収合併し、ジオン系の技術者を多数擁することとなったAE社にとって、この機体の開発は技術継承的な側面も取り込まれている。出自を偽装するため、外装の意匠や動力系の部材がジオン系のもので換装されているが、その実施時期などは不明である。スペック的には当時の水準を遥かに越える機体であったが、AE社の重役オサリバン常務によって、極秘裏に「デラース・フリート」と「地球連邦」の狭間で暗躍するシーマ艦隊に譲渡されており、姉妹機とも呼べるガンダム試作3号機と交戦の末、撃破されている。

頭部ユニット

元々ジオン系の技術者が開発の中核を担っていたため、偽装が決定してからは徹底してモノアイをはじめとするジオン系のデバイスや意匠が採り入れられている。無論、開発当初はいわゆる「ガンダム系」のデザインが施されていた。

ビーム・サーベル

当時の標準的な近接戦闘用の新撃装。形状は専用のものだが、内蔵されているデバイスにはスタンダードな量産品が採用されている。左右大腿上部側面の装甲と一体化したホルダーに1基ずつ収納されている。



ビーム・マシンガン

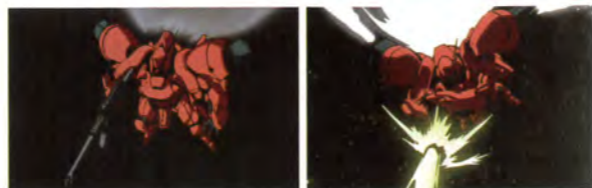
パルス状のビームを連射する試作型のビーム兵器で、エネルギーバックなどは連邦軍の規格品を使用している。メガ粒子を断続的に射出する技術自体が開発途上であるため、強力な冷却システムが採用されており、リミッターが作動すると強制排熱モードが発動し使用不能となる。

シュトルム・ブースター

プロペラントタンクとバーニアスラスタが一体化したオプション装備。さらに2基のプロペラントタンクを増設可能。本体のプロペラントを温存したまま速やかに前線に投入し、作戦行動領域に到達後はバージされる。



ブースター非装備時



SPEC

型式番号：AGX-04
 頭頂高：18.0m
 本体重量：46.7t(48.5t)
 全備重量：73.2t(86.0t)
 ジェネレーター出力：1,710kw
 スラスタ総推力：216,000kg(316,000kg)
 装甲材質：ルナ・チタニウム合金
 武装：腕部110mm機関砲 ビーム・サーベル ビーム・マシンガン
 ※()=シュトルム・ブースター装備時

腕部110mm機関砲

双方の腕に2門ずつ、計4門内蔵されている大口徑の機関砲。威力はガンダムおよびジム系の頭部バルカン砲を遥かに凌駕するうえ、速射性にも優れており、中～近距離の対MS戦闘において非常に有効な攻撃手段となる。

※画像はバンダイプラモデルアクションベース2(別売り)を使用しています。

※この商品には、「HGUC ガーベラ・テトラ」シリーズラインナップが1体のみ入っています。

ガンダム開発計画および強襲用MSをHGUCで確認せよ!!

MOBILE SUIT
GUNDAM 0083
 STARDUST MEMORY

HGUC No.013
 ガンダムGP01ゼフィランサス
 「ガンダム開発計画」によって開発された試作ガンダム1号機の重力下仕様。

HGUC No.018
 ガンダムGP01Fbフルバーニアン
 試作1号機を宇宙戦仕様へ改装した機体。ブースター・ポッドにより機動性や運動性が向上。

HGUC No.066
 ガンダムGP02Aサイサイリス
 MS単体で戦術核を運用するために開発された試作MS。耐熱・耐衝撃装備が全身に施されている。

HGUC No.025
 ガンダムGP03S スティメン
 アームド・ベース「オーキス」と合体して巨大な機動兵器「デンドロビウム」となる。

HGUC No.028
 ガンダムGP03 デンドロビウム
 合体

HGUC No.089
 ケンプファー
 「強襲用MS」技術継承

HGUC No.159
 ガーベラ・テトラ
 「GP04G」を原型として外装等をジオン系に換装。

48

49

47

48

A9

A10

A1

※切り取らないように注意。

50

41

49

※画像はバンダイプラモデルアクションベース2(別売り)を使用しています。
 ※画像の完成品は塗装してあります。